

第3次燕市子ども読書活動推進計画（案）に対する  
パブリックコメントで寄せられた意見とそれに対する市の考え方

1. 意見の募集期間

令和6年12月4日（水）から12月24日（火）まで

2. 意見の提出

人数 2人、件数 7件

3. 意見の内容と市の考え方

以下の表のとおり

| No. | 記載箇所  | 意見内容（要旨）   | 意見に対する市の考え方  | 計画修正の有無 |
|-----|---|--|--|---------|
| 1   | <p>15 ページ</p> <p>■第4章 基本計画</p> <p>■基本目標1：読書の定着に向けた取組の推進【乳幼児期】</p> <p>■（1）読み聞かせ導入期への支援</p> | <p>ブックスタート事業に関して、健診で絵本をプレゼントするだけでなく「なぜこの事業をしているのか？」という意図を伝えることが必要だと思う。実際の利用者の声を聞くとこの事業の意図が伝わっていないと感じる。</p>       | <p>ブックスタート事業は、絵本をお渡しする時にチラシを同封するほか、事業の成り立ちや絵本の読み聞かせの重要性について、図書館スタッフから保護者へ直接説明することで普及啓発に取り組んでまいりました。</p> <p>今後は従来取組に加え「燕市子育てアプリはぐはぐ」やSNSでの情報発信を行うなど、一層の周知に努めてまいります。</p> | 無       |
| 2   | <p>15 ページ</p> <p>■第4章 基本計画</p> <p>■基本目標1：読書の定着に向けた取組の推進【乳幼児期】</p> <p>■（1）読み聞かせ導入期への支援</p> | <p>図書館の読み聞かせ会は周知が不十分。読み聞かせをしていることすら知らない方が多く、SNSも十分に活用されていないように思う。</p> <p>参加者の人数を増やすための工夫や広報の仕方などを再検討する必要がある。</p> | <p>図書館の読み聞かせ会については、図書館内や市内子育て支援施設・小学校にチラシを設置・配布するほか、図書館HPやSNS、「燕市子育てアプリはぐはぐ」での配信等により周知に努めてまいりました。</p> <p>今後も、SNSの効果的な活用や参加者を増やすための方策を検討してまいります。</p>                    | 無       |

| No. | 記載箇所  | 意見内容（要旨）  | 意見に対する市の考え方  | 計画修正の有無 |
|-----|---|---|--|---------|
| 3   | 18 ページ<br>■第4章 基本計画<br>■基本目標2：児童生徒の読書活動の推進【小・中・高校期】<br>■（1）図書を活用した学習の支援 | 読書大賞はあまり盛り上がっていないと感じる。もっと工夫できることはないか。           | 読書大賞への関心を高め、児童生徒が読書に興味関心を持ち、学校図書館での貸出冊数増加につなげていきたいと考えています。読書大賞の取組について学校に働きかけるほか、子どもの読書意欲を高めるような取組を検討してまいります。 | 無       |
| 4   | 19 ページ<br>■第4章 基本計画<br>■基本目標2：児童生徒の読書活動の推進【小・中・高校期】<br>■（3）家庭や地域への情報発信  | 中学生・高校生向けについて、図書の情報発信のほかに、イベントの開催を展開に加えてみてはどうか。 | 中学生・高校生については、まず情報発信を行うことで読書への関心を深めることを想定しています。イベントの開催につきましても、中学生・高校生の不読率解消に向けて、読書環境整備の一環として今後検討してまいります。      | 無       |

| No. | 記載箇所  | 意見内容（要旨）  | 意見に対する市の考え方  | 計画修正の有無 |
|-----|---|---|--|---------|
| 5   | 20 ページ<br>■第4章 基本計画<br>■基本目標2：児童生徒の読書活動の推進【小・中・高校<br>期】<br>（5）市立図書館・図書ボランティアの活用 | 市立図書館や図書ボランティアが小中学校と連携した取組を進めるとあるが、一番大事なのは学校司書の働きではないか。 | 学校司書については、小中学校の中にも含める想定で記載しておりましたが、伝わりやすい表現として20ページに追記いたします。 | 有       |

| No. | 記載箇所  | 意見内容（要旨）   | 意見に対する市の考え方   | 計画修正の有無 |
|-----|---|--|---|---------|
| 6   | <p>25 ページ</p> <p>■第4章 基本計画</p> <p>■基本目標3：すべての子どもが本に親しむための機会の提供 【地域社会】</p> <p>■（7）保育園等や学校、その他関係機関との連携・協力</p> | <p>旅する絵本について。保育園や子ども園で大人が子どもたちに読み聞かせることも大事だが、子どもたちが「読みたい」と思った時に手に取れることがより重要だと思う。各園の絵本の蔵書が増えるよう予算を使って欲しい。</p> | <p>子どもたちがいろいろな絵本に触れ、絵本の世界を想像し、思いを巡らせることは、子どもたちの発想力を高めるとともに、非認知能力を育むために効果的であると考えております。</p> <p>市では、保育園等における絵本の充実に向け、平成27年度からカンカン福服BOOK事業の取組を開始し、10年目を迎えた令和5年度までの累計購入冊数は約2,000冊に達しております。加えて、今年度、新たに「子育て支援施設魅力向上事業」として絵本等の購入費を予算化し、蔵書の充実を図ってきております。</p> <p>今後も、各園における絵本の充実に努めるとともに、このたびのご意見を踏まえ、子どもたちが絵を見て楽しめ、主体的に手に取れるような絵本のレイアウトの工夫などについても、研究してまいります。</p> | 無       |

| No. | 記載箇所                         | 意見内容（要旨）   | 意見に対する市の考え方  | 計画修正の有無 |
|-----|------------------------------|--|--|---------|
| 7   | 15 ページから 25 ページ<br>■第4章 基本計画 | 文部科学省による公共図書館と学校図書館との連携を含めた運営基準の見直しについて、1年をかけて議論しとりまとめる方針とのこと。これを受けて第3次計画についても、具体的かつ積極的な施策が必要だと思われる。 | 文部科学省による公共図書館と学校図書館との連携を含めた運営基準につきましては、子どもの読書活動を推進していく上でも重要な方針と考えています。今後の動向を注視していきたいと考えています。 | 無       |